

(平成28年6月作成)

事務事業評価シート

(H.28)No.

4017

(H.27)No.

4017

事務事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業 (青蓮寺用水/宇陀川用水)		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	323201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	基幹水利施設ストックマネジメント事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業基盤整備費	基幹水利施設ストックマネジメント事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	5 計画的な集落環境整備
重点施策コード		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
経年経過した農業施設の幹線用水路、水管理施設を整備することにより、被害の未然防止、安定した用水供給による生産性の向上及び維持管理経費の節減を図る。
事業内容
事業主体 三重県 青蓮寺2期 : <事業内容> 受益面積879.2ha<負担割合> 国50%・県25%・改良区12.5%・市12.5% (名張21%・伊賀) 青蓮寺3期 : <事業内容> 受益面積83.6ha<負担割合> 国50%・県25%・市25% (名張市21%・伊賀市) 宇陀川用水 : <事業内容> 受益面積165.9ha<負担割合> 国50%・県25%・改良区12.5%・市12.5%

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	青蓮寺2期 事業費: 14,900千円 名張市負担分: 391千円 (14,900 × 12.5%) × 21% 青蓮寺3期 事業費: 2,100千円 名張市負担分: 110千円 (2,100 × 25%) × 21% 宇陀川用水 事業費: 7,051千円 (計画策定業務のみ国7,000千円分100%補助) <H28繰越明許費 2,625千円(市債2,600千円、一財25千円)>	青蓮寺2期 事業費: 200,000千円 名張市負担分: 5,250千円 (200,000 × 12.5%) × 21% 青蓮寺3期 事業費: 100,000千円 名張市負担分: 5,250千円 (100,000 × 25%) × 21% 宇陀川用水 事業費: 16,000千円 名張市負担分: 2,000千円 (16,000 × 12.5%)	青蓮寺2期 : 事業費40,000千円 青蓮寺3期 : 事業費80,000千円 宇陀川用水: 事業費88,000千円 市は負担金	青蓮寺2期 : 事業費40,000千円 青蓮寺3期 : 事業費15,000千円 宇陀川用水: 事業費58,000千円 市は負担金	青蓮寺2期 : 事業費30,000千円 青蓮寺3期 : 事業費10,000千円 宇陀川用水: 事業費41,000千円 市は負担金

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	7,552千円	12,500千円	27,250千円	16,338千円	11,563千円
内訳(千円)					
国・県支出金	7,000				
地方債	400	9,800	14,150	8,694	6,175
その他()	55	2,625	13,100	7,644	5,388
一般財源	(0) 97	75	0	0	0
人工数					
職員	0.12人	0.09人	0.09人	0.09人	0.09人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 929千円	701千円	701千円	701千円	701千円
①+②総事業費	(0千円) 8,481千円	13,201千円	27,951千円	17,039千円	12,264千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
施設の建設から年数が経過し、老朽化により漏水等の補修箇所が増えている。	ストックマネジメント事業により、計画的に施設の長寿命化に向け取り組む必要がある。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	農業用施設の機能を十分発揮できるよう適正な維持管理ができるよう長寿命化計画を立てる。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	日常的な維持管理については改良区等と連携が図られている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
老朽化した農用施設を長寿命化する事業であり、農業者の方にとっても重要な事業であると考えている。事業主体の三重県を支援し事業拡大を要望していきたい。	